

検証結果の概要

プロジェクト名

「北海道4町連携による間伐促進型森林づくり事業」

検証実施機関	株式会社 JACO CDM
検証報告書発行日	2010年1月29日
検証意見の要約	<p>北海道4町連携による間伐促進型森林づくり事業の、2008年度及び2009年度のモニタリング期間に対する、モニタリング報告書に記載された、同事業の温室効果ガス吸収量に関する情報は、オフセット・クレジット（J-VER）制度における温室効果ガス吸収量の算定及び報告の基準であるモニタリング方法ガイドライン（森林管理プロジェクト用）（Ver. 1.2）、ポジティブリスト No. R001 及び方法論 JRAM001 に基づいて作成されており、全ての重要な点において適正であると認める。最終モニタリング報告書においては、検証において検出された誤りは全て訂正済みであること、全体の不確実性の計算結果は10%未満であることから、重要性の量的基準値である吸収量の10%を満足している事を確認した。</p> <p>結論：無限定適正意見</p> <p>2008年度及び2009年度における、本プロジェクトの4町全体での吸収量は5863 tCO₂であることを確認した。本プロジェクトに対し、上記のオフセット・クレジットの発行を推奨する。</p>
備考	<p>本プロジェクトの温室効果ガス吸収量に関する情報は、オフセット・クレジット（J-VER）制度における温室効果ガス吸収量の算定及び報告の基準であるモニタリング方法ガイドライン（森林管理プロジェクト用）（Ver. 1.2）、ポジティブリスト No. R001 及び方法論 JRAM001 に基づいて作成されており、全ての重要な点において適正であると認める。</p> <p>不確かさあるいは潜在的な誤りについては、「モニタリング報告書の検証のためのガイドライン」5.2 に従って下記を検証し、誤りが認められた部分については訂正済みであり、最終モニタリ</p>

	<p>ング報告書に誤りはないことを確認している。(9.1 参照)</p> <p>(1) 誤り</p> <p>(1-1) 吸収源：算定対象の妥当性</p> <p>(1-2) 算定式：モニタリングプランへの適合性</p> <p>(1-3) 活動量：</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 算定対象期間の妥当性、 b. モニタリングプランへの適合性、 c. 原始記録（野帳データ）と集計表の整合、 d. 適正な単位の使用、 e. 集計漏れのないこと <p>(1-4) 係数：モニタリングガイドに適合した係数の使用</p> <p>(1-5) 計算：計算間違いが無いこと</p> <p>(2) 不確かさ</p> <p>計量器の不確かさは、ガイドライン 5.2 に従い考慮しない。従ってプロジェクト事業者によって算定された吸収量の不確実性のみが不確かさとなる。(9.2 参照)</p> <p>対象期間（2008 年度及び 2009 年度）に対する不確実性の計算結果は、4 町合計で 4.6%と算定されている。(9.2 参照)</p> <p>以上の結果から、本プロジェクトは森林管理プロジェクトの重要性の量的基準値である吸収量の 10%未満という基準を満足していることを確認している。</p>
--	---

本プロジェクトに関し、2010年2月～3月分のクレジット量は森林が適正に管理され、災害が起きていない旨の確認を取れたことを受け、2010年2月23日に発行された吸収量5,349 tCO₂との差分量514 tCO₂を発行するものである。